CQ 6-2

小児欠神てんかんに対する第一選択薬はなにか

推奨

現時点ではバルプロ酸が推奨され，ラモトリギンやエトスクシミドについては患児の状態や副作用などを確認しながら選択薬として推奨される（**グレード B**）.

解説・エビデンス

バルプロ酸，ラモトリギン，エトスクシミドが小児欠神てんかんに用いられるが，どの薬剤が第一選択薬として推奨できるかについてのエビデンスは得られていない．小児にとって味覚は無視できないので，服用しやすいバルプロ酸がよく用いられている．ラモトリギンはプラセボよりも発作が消失しやすいという報告があり，エトスクシミドとバルプロ酸の間では効果の有意差はみられなかった（エビデンスレベルⅠ）[1].

小児欠神てんかんの詳細な治療については他書を参照のこと.

文献

1）Posner EB, Mohamed KK, Marson AG. Ethosuximide, sodium valproate or lamotrigine for absence seizures in children and adolescents. Cochrane Database of Systematic Reviews 2005, Issue 4. Art. No.: CD003032. DOI: 10.1002/14651858.CD003032.pub2. Chichester（UK）: John Wiley & Sons, Ltd. http://mrw.interscience.wiley.com/cochrane/clsysrev/articles/CD003032/frame.html（エビデンスレベルⅠ）

検索式・参考にした二次資料

PubMed（検索 2008 年 9 月 21 日）

“Epilepsy, Absence/drug therapy”［Mesh］＝261 件

医中誌ではエビデンスとなる文献は見つからなかった.